



聖隷クリストファー大学附属 クリストファーこども園

企業情報 業 種：幼保連携型認定こども園運営
所 在 地：浜松市中央区三方原町 2762
従業員数：70 名（※うち外国人材 6 名）
〔在留資格：永住者、技術・人文知識・国際業務など〕
〔国籍・地域：オーストラリア、フィリピン、インド、アメリカ〕
ホームページ：https://www.seirei.ac.jp/kodomoen/

Q 業務内容や外国人材受入れのきっかけ、これまでの経緯について教えてください。

- ・学校法人聖隷学園が運営する幼保連携型認定こども園です。
- ・2024年2月にクリストファー小学校とともに、静岡県西部初となる国際バカロレア初等教育プログラム（IB PYP）のワールドスクールに認定されました。
- ・開設当初より外国人材を採用し、多国籍、多文化の環境の中で多様性を認め、尊重し、国際的視野を育む保育環境に努めています。
- ・2024年6月現在、6名の外国人材が就労しています。

Q 外国人材が活躍している状況や効果について教えてください。

- ・園児達と日常的に活動を共有する中で、英語によるコミュニケーションを用いて園児達が自らの具体的な体験を英語で検討する機会を作っています。
- ・外国籍の園児や保護者とのコミュニケーションのサポート役を担っています。
- ・言語だけでなく、その方の持つ特技（楽器演奏、動画制作、絵画・デザイン、スポーツなど）やキャラクターが発揮されています。

Q 外国人材が安心・安全に働くことができる就労環境づくりについて教えてください。

- ・外国人、日本人に関わらず同じ条件で働いていただいています。就職後は、国際バカロレア初等教育プログラム（IB PYP）に関する研修機会があります。
- ・職場においては英語によるコミュニケーションが可能な職員を相談役として配置し、悩み事や相談等について気軽に相談できるよう配慮し、早期に必要な対応が取れるように体制を整えています。
- ・職員間の情報共有ツールは、母語への翻訳可能なシステムを活用し、必要な情報の理解促進に努めています。
- ・生活面での困りごとやサポートが必要なことは、担当者に限らず園の職員の誰もがお互いに声をかけ合い、助け合う雰囲気が醸成されています。

Q 今後検討している取組やアピールポイントについて教えてください。

- ・本園の共通言語は「日本語」ですが、多言語、多文化が尊重されるコミュニティ作りと園児の国際的視野が育まれる環境作りを目指しています。外国人の方々との協働により、お互いの理解と尊敬を通じて、ボーダレスな職場作りに努めています。
- ・在籍する外国人が講師となって、母国の料理の紹介や絵本等の読み合わせを行い、園児や職員がその国の文化や言語に触れる機会を作っています。また、在籍する外国人の出身地域とのオンラインでの交流も予定しています。
- ・外国人材の活用を通して、浜松に住む外国人の子育て支援のサポートに取り組めます。
- ・学校法人聖隷学園が運営する聖隷クリストファー大学・大学院、聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校、聖隷クリストファー中・高等学校、聖隷クリストファー小学校との連携をさらに図り、職場環境や生活面でのサポート体制の充実に取り組めます。

【外国人材の声】

ライツン ジェシー (Reitzin Jesse) さん (国籍：オーストラリア)

自分とは異なる文化の中で働くということは、非常に困難な場合があります。しかし、そうすることで、自分の思い込みや偏見を振り返り、問い直し、より国際的な視野を持った柔軟性のある人間になれるはずです。

私の職場は、私の文化や生育環境、個性がもたらすスキルや違いを受け入れてくれました。また、私自身も本質的には自分と異なる職場文化やスタイルに適応する必要がありましたが、双方の理解が良い効果をもたらしています。私自身の経験から、他の文化への適応と、自らの積極的な吸収が重要であると感じています。

【代表者の声】

クリストファーこども園では、外国人、日本人に関係なく一人の職員としてお迎えします。私たち職員の集団は、未来を生きる子ども達の見本となります。人は違って当たり前であり、それぞれに正しさがあること、それぞれを尊重し、助け合える集団であることが、幼い子どもたちの価値観を育てていくのだと考えています。

グローバルスタッフは、子どもたちに多文化や多様性を頭だけでなく、身体で理解する感覚をもたらしました。これからも教育のプロとして、様々な国のグローバルスタッフの皆様と共に働けることを楽しみにしています。

聖隷クリストファー大学附属クリストファーこども園
園長 武田 真理子